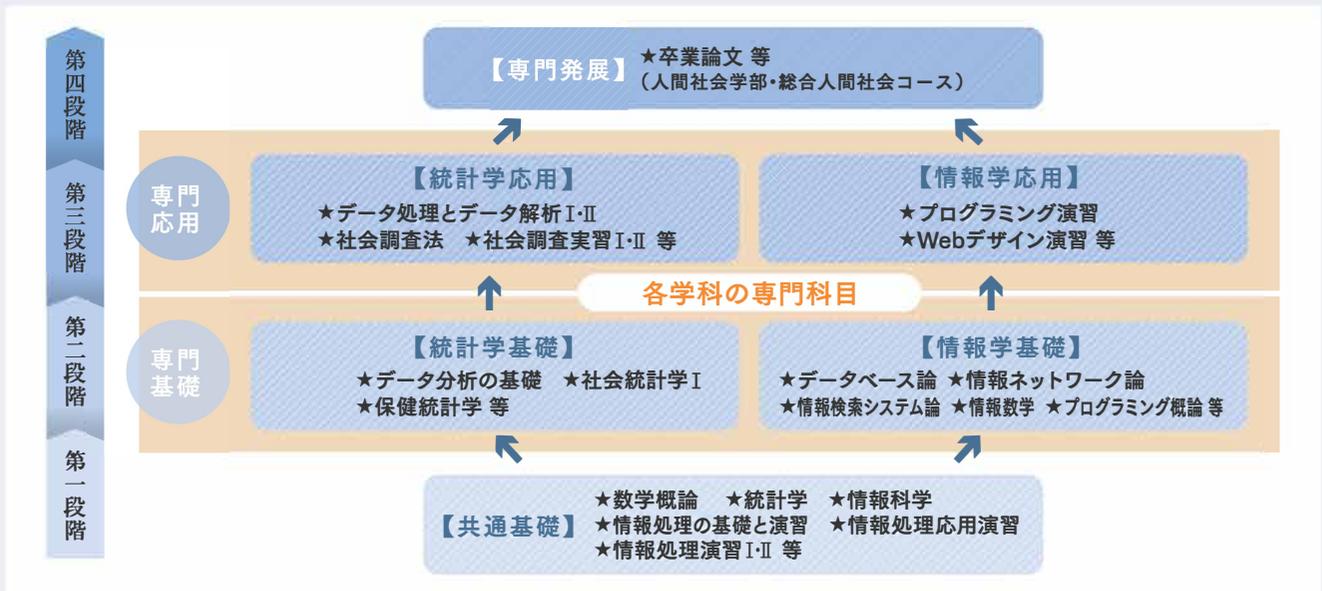


# データサイエンス・プログラム

統計・情報の知識を保健福祉分野での課題解決に活用できる力を養う

近年、IoT、AI、ビッグデータ、ロボット等の新技術の進展により、保健福祉分野でも大きな変革が始まっています。本プログラムでは、統計学、情報学を系統的に学ぶことにより、新しい時代に求められる統計的手法や情報技術を修得することができます。

第一段階(共通基礎)として数学、統計学、情報学、情報処理の基礎、第二段階(専門基礎)として各専門分野の統計学、情報学の基礎を身につけ、第三段階(専門応用)として各専門分野の統計学、情報学の応用を演習形式で学ぶことにより、統計学、情報学の知識やスキルを保健福祉の各専門分野での課題解決に活用できる力が養われます。人間社会学部では、第四段階(専門発展)として3年次に総合人間社会コースを選択し、「卒業論文」等に取り組むことも可能です。



正課外教育

★情報処理関係資格取得支援プログラム  
(MOS資格取得講座 等)

関連資格

上級情報処理士、MOS資格、  
社会調査士、認定心理士

## 例えば、こんな授業があります

### ★データベース論

2年次 / 2単位

福祉・看護・その他多くの業務において、業務上いろいろなデータを管理する必要があり、データベースはデータ管理の中核となっています。情報システム設計の基本となるデータベースについて、役割と仕組み、構築とデータ管理について学習します。また、Microsoft Accessを利用して実際にデータベースの構築を行います。

### ★データ処理とデータ解析I

3年次 / 1単位

保健福祉分野において必要な記述統計、推測統計等のデータ処理とデータ解析の技法をコンピュータを使った演習形式で学びます。グループ単位でミニ調査、データ集計、統計解析、報告書を作成することで、実践的な技術を身につけることができます。

### 上級情報処理士

本学の所定の単位を修得すれば、「上級情報処理士」の資格を取得することができます。上級情報処理士は、全国大学実務教育協会が認定する資格です。上級情報処理士の資格を取得することは、コンピュータを使いこなせる技術が身についたことの証になり、企業にとって、学生の情報処理能力を客観的に評価できる一つの材料となります。

### MOS資格

マイクロソフトオフィススペシャリスト

Microsoft OfficeやオペレーティングシステムWindowsについての操作スキルの認定資格が、「マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS)」です。Microsoft Officeは、現在、多くの職場で活用されている代表的なアプリケーションソフトです。この認定資格は、企業での認知度が高いため、就職活動前に取得しておきたい資格です。

## 上級情報処理士 / MOS資格 Word・Excel

Voice



堀江 香里 さん | 人間社会学部 公共社会学科 4年 浮羽実真館高校出身(福岡県)

このプログラムで、上級情報処理士とMOSの資格を取得しました。上級情報処理士は、指定された授業科目の単位を取得することで資格要件が満たされ、情報の知識や技術が向上しますのでおすすめです。MOSに関しては、夏季休暇中に学校に来て講習を受けましたが、内容自体はわかりやすく、理解することもそれほど難しくありませんでした。WordとExcelのスキルを身につけることができ、普段の授業でも生かすことができている。